

頭頸部 画像診断の勘ドコロNEO

編集：浮洲 龍太郎（北里大学医学部放射線科学画像診断学准教授）

B5 変型判・412 頁・2 色（一部 4 色）・イラスト 80 点・写真 1,100 点

定価 8,580 円（本体 7,800 円＋税 10%）

2021 年 1 月 メジカルビュー社刊 ISBN978-4-7583-1614-9



評者 **Noriko Salamon** (Ronald Reagan Medical Center, David Geffen School of Medicine at UCLA)

北里大学医学部放射線科学画像診断学の浮洲 龍太郎先生による『頭頸部画像診断の勘ドコロ NEO』は、経験豊富な放射線科医の視点で書かれ、最新の情報もコンパクトにまとめられた素晴らしい医学書です。頭頸部の画像は解剖も複雑で、経験ある放射線科医にとっても意外と厄介な分野で、苦手と思う先生も多いと思います。日常の読影時にちょっと確かめたいとき、つい思い出せないことなどがあるとき、すべてこの本が解決してくれるような、そんな便利で使いやすい一冊になっています。例えば頭頸部の腫瘍を理解するうえで必要な解剖、組織、診断方法、治療について、画像所見を正しく解析したうえで、病変の特徴をどう理解するか、そしてその情報を使って最終診断に導いていくための、重要なポイントが経験豊富な著者によって見事にまとめられており、学生や研修医も含め、かなり経験を積んだ放射線科医にも有用な内容になっています。

本書は技術編と疾患編とで構成されています。技術編では造影剤や撮影方法そして超音波、CT、MR、および核医学検査の基礎知識がわかりやすく説明されていて、画像診断を行うときの必要な技術的知識や、診断のフローチャートが要領よく学べるように書かれています。これ

は新しく頭頸部の画像プロトコルを起こす際にも大切な情報です。疾患編は、部位別によく見られる疾患が、先天奇形から悪性腫瘍まで系統的に、豊富な画像を中心に解説してあります。頭頸部の解剖は簡単なシェーマでも解説されていて、診断と治療に必要な部位別知識の重要性を含めて、理解できるような構成にしています。基礎知識も含めて楽しく学べ、正確に患者の状態を把握し、実際の現場で臨床医と治療戦略を立てるときに役立つような、画像診断のできる放射線科医を育てる本だと思います。

頭頸部の疾患は治療の難しいケースも多く、最初の診断のみならず手術後の経過観察の画像診断も大変重要です。本書はさまざまなモダリティをどう使うかなど、検査の組み立て方までに言及し、読影室の放射線科医に役立つことは確実です。随所に必読の文献や、最新のトピックス、それにちょっとしたメモも散りばめており、放射線科以外の医師にとっても頭頸部の画像診断を、満遍なく学べる内容になっています。画像のクオリティーもよく、放射線診断のガイドブックとして、大変完成度の高いものになっています。専門医試験の整理にも最適と思われます。教育、臨床の場においてとても役立つ一冊であり、広くお勧めしたいと思います。